

定期演奏会ごあいさつ

校長 久保田範夫

本日は、安積高等学校合唱団の第35回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

「合唱」という言葉を聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。私自身は、「校歌の大合唱」をイメージします。今まで6つの高校に勤務してきましたが、新任の学校でまず心がけたのは、その学校の校歌を憶えて声高らかに歌えるようにすることであり、校歌を通してその学校を知りその学校を好きになることでした。全校生が心を一つにして校歌を斉唱する「場」には、もの凄いエネルギーがあることを感じてきました。

合唱や校歌、音楽との関わり方は人それぞれですが、人が生み出す音楽には、その場に集う全ての人のエネルギーの総和以上のものが宿っているものであり、だからこそ音楽は多くの人々に力を与えてくれるのではないのでしょうか。

さて、安積高等学校合唱団は、平成24年度全国合唱コンクールの全国大会で3年連続で金賞を受賞し、3年前の文部科学大臣賞と併せて、その実力を全国に知らしめましたが、本校合唱団は、たくさんの人に楽しんでもいただける演奏を目標の一つとして日頃練習に取り組んでいます。今日の演奏会は、合唱音楽の楽しさと不思議な力を存分に味わってもらえるものと確信しております。団員の日頃の努力を、大きな拍手で称えていただければ幸いです。

最後になりますが、この演奏会の開催にあたり、多数の方々から温かい御援助や励ましを頂きましたことに感謝いたします。今後とも、安積高等学校合唱団に対し、御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。